

令和6年度 育成したい資質・能力 ルーブリック評価表

「ふるさとへの愛情をもって社会に貢献する生徒の育成」

資質・能力		レベル0	レベル1	レベル2	レベル3（卒業時の理想像）	育てたい生徒像とのリンク項目	
伸ばしたい4つの資質・能力	言葉の力	聞き取る力	その時の気分や関係性に左右されて、他者の話を聞こうとする姿勢がもてない。	様々な表現で伝えられる相手の考えや思いを独りよがりな受け止めでなく、正しく理解することができる。	相手の立場や状況をふまえ、考えや思いを受け止め、正しく理解することができる。	相手が、自分とは異なる立場や状況にあってもその背景をふまえて、考えや思いを受け止め、正しく理解することができる。	① 未来の社会を生きる基礎力を備え ②ホスピタリティ精神に富み、自他共に尊重し、相手を慮ることができる ③ 確かなコミュニケーション力を備える
		表現する力	使う言葉が限られており、どのような場面でも同じような言葉でしか表現できない。	場に応じた言葉遣いができ、相手に自分の思いや考えを伝えることができる。	自分の思いや考えを伝えて、相手に分かってもらえるよう工夫して伝えることができる。	自分の思いや考えを十分な根拠をもって伝えるとともに、聞く人の立場に寄り添って表現することができる。	① 未来の社会を生きる基礎力を備え ②ホスピタリティ精神に富み、自他共に尊重し、相手を慮ることができる ③ 確かなコミュニケーション力を備える
	想像する力 俯瞰する力 関連付ける力	その時々、自分から見える範囲でしか物事を捉えることができず、自分の快不快に基づいた自分本位の考えで行動する。	他者から見た自分という視点を持ち、自分自身がどうあるべきかについて考え、行動に活かすことができる。	地域や身近な人々の立場に配慮しながら、これまでの学びや経験を踏まえて、自分がやるべきことについて考え、行動することができる。	社会や世界の情勢とその背景を理解し、これまでの学びや経験を用いて未知の出来事を推し測り、よりよい社会を築くための方法を考え、行動することができる。	① 自らの未来に向け主体的に学ぶことができる ②ホスピタリティ精神に富み、自他共に尊重する ③ 故郷への愛情とグローバルな視点をもって自国の文化を深く理解するとともに他国の文化を尊重し、社会をよくするために行動することができる	
	協働する力 関係を作る力 自分ごとにする力	他者に対して、その時々気分によって応答しないことがある。仕事や役割を引受けても、その任を十分に果たせない時がある。	他者からの呼びかけに誠意をもって応答する。他者の発言に耳を傾け、自分の分担の仕事や役割を果たすことができる。	自分の仕事や役割をきちんと成し遂げ、必要な時は他者の手助けをすることができる。	自分からできることを探して行い、相手を選ばず協力して目標を達成したり、作業を行うような流れを作ることができる。	① 未来の社会を生きる基礎力を備え ② 品位ある言動で相手を慮ることができる ③ 確かなコミュニケーション力を備え、社会をよりよくするために行動することができる	
やりぬく力 自己管理力 計画実行力	自分が成長するための目標を設定することができない。また、助言を受けても、気分によって取り組みが左右される。	自己の言動や置かれた立場を客観視した上で適切な目標を設定し、挑戦しようとする意欲をもつことができる。	目標を実現するための具体的な行動が分かっており、優先順位に従い、継続的に取り組むことができる。	実践したことを振り返って課題を整理し、必要に応じて計画を修正し、さらに高い目標に向かって取り組みを発展させることができる。	① 未来の社会を生きる基礎力を備え、自らの未来に向け主体的に学ぶことができる ③ 社会をよりよくするために行動することができる		